

2 学力向上のための推進計画

1 県学力向上推進目標

本県児童生徒の学力を全国水準に高め、維持する

2 本校の学力向上推進テーマ

児童一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む
～基礎学力の定着を図る取り組みを通して～

3 設定理由

沖縄県教育委員会「学力向上推進プロジェクト」によると「学力向上の取組の重点を『授業改善』におき、日々の授業の充実を通して、本県幼児児童生徒に『確かな学力』を身に付けさせ、『生きる力』を育みます」となっており、特に、「学校教育における指導の努力点」として掲げている「確かな学力」の向上を踏まえ、「授業改善6つの方策」として、実効性のある取組で方向性や内容を示している。

これまでの本校の取組を振り返ってみると、全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査、県学力向上 Web 実力調査、市標準学力調査の結果から、算数科においては、基礎学力の定着を図ることができ、全国水準の学力を維持できるようになってきた。一方で、国語科においては、「読むこと」の領域において課題が見られたことから、校内研究では「自分の考えをもち、広げ深める児童の育成～国語科の文学的文章における対話的な活動の工夫を通して～」をテーマに、日々授業改善に取り組んでいる。また、学習規律や生活規律においては、全学年で共通実践しているものの、その定着にはまだ課題がある為、本年度も昨年度に引き続き推進していきたい取組である。

「確かな学力」などの「生きる力」を育むには、家庭や地域社会における生活を基盤にした、基本的な生活習慣の形成が不可欠であり、学校においても日々の授業改善を通して、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けさせていく必要がある。

本校では、「学力向上推進プロジェクト」における「授業改善6つの方策」に基づいて、全校体制で共通実践しながら、その土台となる「学習を支える力」を家庭・地域と連携し、「児童一人一人の『確かな学力』を向上させ、『生きる力』を育む」ことをテーマに、学力向上推進を行っていく。

4 方針

○「学力向上推進プロジェクト」に基づき、学力向上・研究推進委員会を中心として、全校体制で組織的な取組を推進する。

○学力向上推進の重点を「授業改善」におき、日常的な取り組みと、校内研修による授業改善を連携させて取り組む。

○教職員一人一人が「PDCA」のサイクルによる計画的、効果的な実践を図り、実効性のある学力向上の取組をマネジメントする。

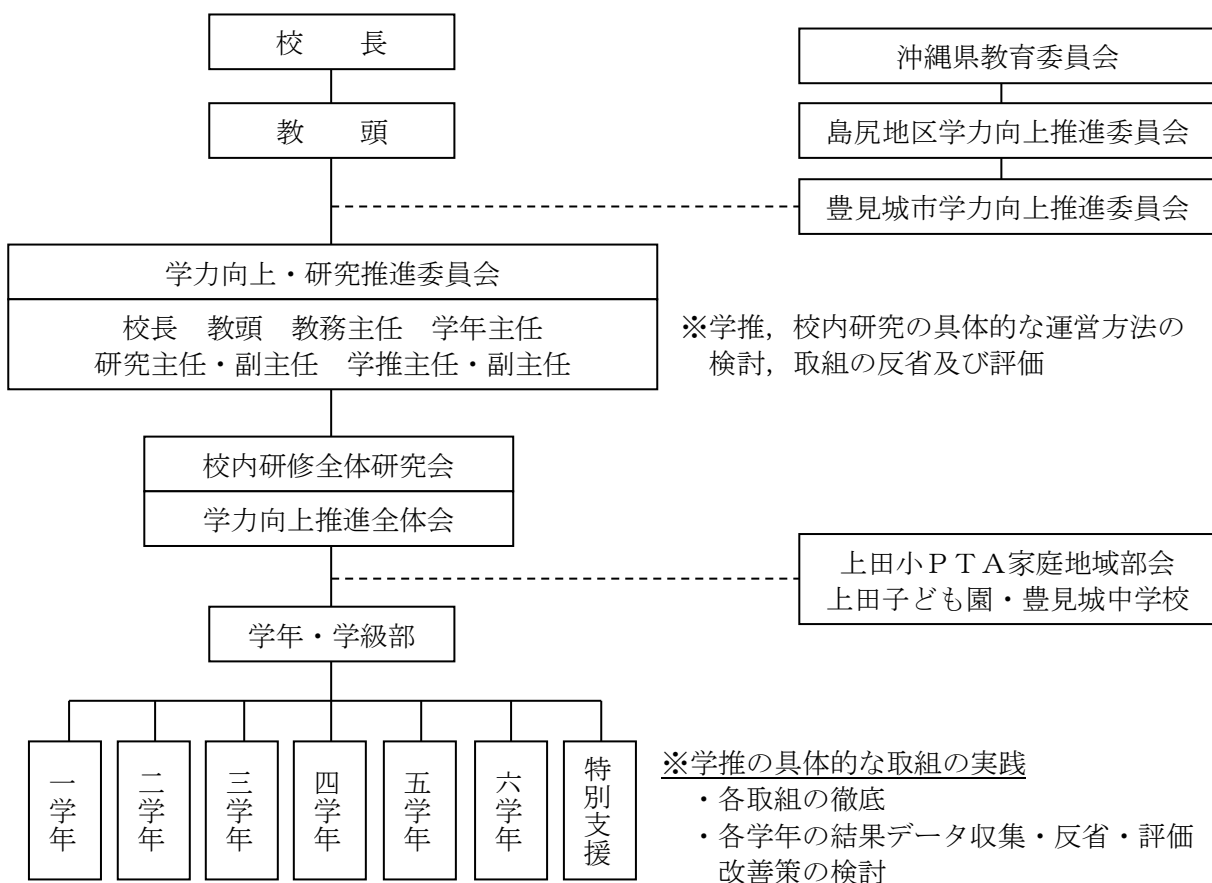
○学校・家庭・地域が、連携・協力して日常的な取り組みを推進する。

○全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査、県学力調査「学びのたしかめ」、市標準学力調査の実施と分析、その活用を図る。

5 年次計画

令和 3 年度	<p>○具体的な取組みの日常化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的取組の反省と対応策 ・ 校内研究・研修との連携（授業改善に重点を置いた実効性のある取組） ・ 家庭，地域との連携の強化 ・ 次年度へ向けての反省と確認（成果・課題・改善策）
令和 4 年度	<p>○取り組み事項の日常化と総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的取組の実施，達成目標の見直し ・ 校内研究・研修との連携（授業改善に重点を置いた実効性のある取組） ・ 家庭，地域との連携の強化 ・ 学力向上推進機関の評価・総括（成果・課題・改善策）

6 組織



7 今年度の年間計画

4月	◎学習規律強化月間 ○「学習に向かう姿勢」を整えよう《一事徹底》 ○「あすなろ」をしっかりとできるようにしよう《凡事徹底》
	・県「学力向上推進プロジェクト」、豊見城市「学力向上推進計画」の確認 ・本校「学力向上推進計画」の確認、校内研修の計画の確認、各教科年間計画の確認 ・「全国学力・学習状況調査（国語・算数）」の実施【6年生】 19日（火） ・「計算力、漢字力の実態把握調査」の実施【2年生～6年生】
5月	◎学力向上強化月間 ○辞書引きを楽しもう ○読書を楽しもう
	・教育相談児童アンケートの実施、分析 ・「辞書引き学習」【2年生～6年生】※ことばの貯金通帳を活用し、付箋は無し
6月	◎平和旬間 ○平和について考えよう
	・県学力定着度調査「学びのたしかめ」の実施【4・5学年】 日（ ）～ 日（ ）の期間内 ・「はつらつカード」①の実施【全学年】 6日（月）～10日（金） ・全国学力・学習状況調査の分析・考察①
7月	◎学習定着確認月間 ○漢字力、計算力検定を合格しよう
	・「漢字力、計算力検定」①の実施、分析【全学年】 4日（月）～15日（金） ※1年生はひらがな検定 ・学力向上推進1学期前半の評価 ・地域教育懇談会 伊良波中校区： 日（ ） 豊見城中校区： 日（ ）
8月	・校内研修（全国学力・学習状況調査の分析・考察②） ・学力向上推進1学期前半の評価の分析、対応策の検討
9月	◎学力向上強化月間 ◎読書月間 ○進んで辞書引きしよう ○読書を楽しもう
	・「辞書引き学習」【1年生】
10月	◎学習定着確認月間 ○1学期のまとめをしよう
	・学力向上推進2学期の取組の方針の確認 ・「ノートリレー」の実施【1年生～6年生】 17日（月）～学級内で1周するまで
11月	◎学力向上強化月間 ○家庭学習に取り組もう
	・「はつらつカード」②の実施 14日（月）～18日（金）
12月	◎学習定着確認月間 ○漢字力、計算力検定にむけて学習に取り組もう
	・「市標準学力調査」の実施【3年生～6年生】 日（ ） ・学力向上推進の各学年の実践内容の成果と課題及び対策まとめ ・漢字力・計算力検定に向けた冬休みの宿題の提示
1月	◎学習ステップアップ月間 ◎体づくり強化月間 ○じょうぶな体は健康な歯から～むし歯ゼロ作戦～
	・「漢字力、計算力検定」②の実施【全学年】 12日（火）～23日（金） ・教育相談児童アンケート実施、分析 ・市標準学力調査の分析・考察
2月	◎学習ステップアップ月間 ◎体力強化月間 ○なわとびチャレンジ
	・校内学力向上推進の報告 ・学力向上推進の本年度の反省と次年度の取組事項の確認 ・県学力到達度調査【3年生～6年生】 14日（火）
3月	◎学習ステップアップ月間 ○1年間のまとめをしよう
	・学力向上推進の本年度の反省と次年度の取組事項の確認 ・春休みの課題提示・配布（6年生は中学校との連携） ・各学年のまとめおよび各学年で課題となっている領域・単元の取組

8 全体構想図



9 具体的な取組事項

『『確かな学力』の定着』を図る具体的な取組

		前年度の実践	達成目標	取組実践項目	評価の指標	評価	
						7月	11月
生きて働く知識・技能の習得	漢字	R3年度最終合格率 7月 88.6% 2月 46% ※2月実施は再テストなし。	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年の新出漢字を確実に定着させる。 1回目の合格率を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のチャレンジタイム(火)の時間を活用する。 7月, 1月に漢字力検定テストを実施する。 90点以上を合格とし, 合格するまで何度もチャレンジさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 合格率 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		
	計算	R3年度最終合格率 7月 90.3% 2月 65% ※2月実施は再テストなし。	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年での四則計算を確実に定着させる。 1回目の合格率を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝のチャレンジタイム(火)の時間を活用する。 7月, 1月に計算力検定テストを実施する。 90点以上を合格とし, 合格するまで何度もチャレンジさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 合格率 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		
	補習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各学年、学級の実態に応じて 夏休み期間中の補習 	<ul style="list-style-type: none"> 2教科(国・算)の単元テストで, 85点以上の児童を100%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テストの実施 日常的な補充指導は, その日の授業(主として国算)の補習指導を担当が行う。 一斉指導や個に応じた指導を行う。 4月の計算力実態調査で学級の実態を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 85点以上 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		
	宿題	<ul style="list-style-type: none"> 授業と連動した宿題, 各種学力調査の結果を活かした宿題の提示 「上田っ子ノートリレー」の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題の提出率が100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業と連動した宿題の工夫改善を図る。(宿題ノート・宿題プリント) 授業, 行事, 学級経営等と連動した作文, 日記の宿題の充実を図る。 家での学習時間(15分×学年)を確保するよう指導する。 音読の習慣化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 宿題を毎日提出している。 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		
思考力・判断力・表現力等の育成	校内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 全教諭, 1回以上の公開授業を実施できた。 校内研の取組で, 国語科の説明的文章における対話活動の充実を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教諭, 1回以上の公開授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学力向上推進プロジェクト」に基づく授業づくりに努める。 校内研修の充実を図る。 低, 中, 高学年で隣学年研を実施する。 全体研は1回とする。 電子黒板, デジタル教科書を活用した授業を実施する。 各種調査結果を踏まえた授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1回以上公開授業が実施できたか。 		
	言語活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書くことができ, 相手に分かりやすく伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを図や式, 言葉などで表現する。 対話活動の充実を目指す。 ノート指導の共通理解及び実践を行う。 各教科に応じたノート指導の工夫改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書き, 伝え合うことができる。 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		
	辞書引き学習	<ul style="list-style-type: none"> 辞書引きだけでなく, 「ことばの貯金通帳」を活用の充実を図ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで辞書を引くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月から(1年生は2学期から)共通実践する。 付箋紙は低学年のみ使用せず, 高学年は辞書引きに加え, 「ことばの貯金通帳」の活用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで辞書引きを行うことができる。 A: 80%以上 B: 60~79% C: 0~59% 		

		前年度の実践	達成目標	取組実践項目	評価の指標	評価	
						7月	11月
学びに向かう力・人間性等の涵養	基本的な生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ご飯，てくてく登下校，家庭学習の習慣がついてきている。 ・早寝，早起きの習慣が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活リズムが確立している児童が100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「上田っ子の一日」を共通理解し，共通実践する。 ・「はつらっカード」の目標値を設定し，結果分析を保護者に報告する。 ・規則正しい生活時間の確立を図る。 ・「てくてく登下校」を奨励する。 ・家族団らん（親子の会話）を奨励する。 ・ファミリー読書を奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活リズムが確立している。 A：80%以上 B：60～79% C：0～59% （はつらっカード）		
	学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習に向かう姿勢」を「一事徹底」とし，共通実践を行う。 ○授業前の準備 ○ベル黙想 ○机上の整理 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一事徹底」を実践できる児童が100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一事徹底」の実践。 ・専科や体育等の移動教室時の整理整頓の習慣化を図る。 ・集団生活におけるきまりを守る力の育成を学級経営の中で指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「一事徹底」を実践している。 A：80%以上 B：60～79% C：0～59%		
	体験学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の計画に基づき，実施できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで体験活動に参加する児童が100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年，各教科，総合的な学習の時間，特活の時間等で体験活動を計画し，実施する。 1年…昔遊び，生き物とふれ合おう，栽培活動 2年…楽器作り，算数的活動，おもちゃ祭り，町体験，野菜を育てよう，上田っ子祭り 3年…水鳥湿地センター見学，市内めぐり，市資料館 4年…車椅子，アイマスク体験 5年…紅型トートバッグ作り，県立博物館・美術館見学 6年…アプチラガマ見学 特支…八百屋さんをひらこう，ムーチャー作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで体験活動に参加できた。 A：80%以上 B：60～79% C：0～59%		
	読書活動の充実	年間読書冊数 1人平均 R3 96冊 目標達成児童 R3 53.0%	年間読書冊数 1年…120冊 2年…120冊 3年…100冊 4年…100冊 5年…80冊 6年…80冊 ・各学年，上記の冊数を100%達成する。 （1学期は半分の冊数）	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級の図書室利用時間を週1時間位置づけ，読書に親しむ時間と場を確保する。 ・市立図書館と連携し，学習センターとしての機能の充実を図る。 ・読書指導を行う。 ・年間読書冊数を設定し，最低でも月5冊は読書するよう奨励する。 ・各学年の「おすすめの本」（各50冊）をリストアップし，そのコーナーを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成児童 A：80%以上 B：60～79% C：0～59%		

「豊かな心の育成」を図る具体的な取組

		前年度の実践	達成目標	取組実践項目	評価の指標	評価	
						7月	11月
人間関係づくりの力を育む取組の充実	あすなる運動	・進んであいさつしている児童が増えてきている。	・進んであいさつができる児童が100%である。	・あいさつ運動を徹底指導する。 ・生活・安全委員会、児童会役員による具体的な取組を充実させる。	・進んであいさつができる。 A：80%以上 B：60～79% C：0～59% (はつらつカード)		
	保幼小の連携	・各学年の計画に基づき実施できた。	・教育課程に基づき、計画、実施する。	・学年と認定こども園の連携事業 1年…お招き会 5年…読み聞かせ ・保育園、認定こども園との連携事業 ・保育園、認定こども園との研修会	・計画に基づき、実施できたか。		
	人権教育の充実	・教育相談アンケートで児童の実態を把握し、改善に生かしてきた。	・人権の日の学級活動を実施する。 ・「学校が楽しい」と思う児童が100%である。	・毎月1回を人権の日と位置付け、校内放送を実施する。 ・支持的風土のある学級経営の充実。 ・道徳教育の充実(価値項目の確実な指導) ・教育相談週間(9月・1月)を設け、児童理解を図る。 ・「いじめアンケート」を実施し活用する。	・人権の日の学級活動を毎月実施したか。 ・「学校が楽しい」と思う児童 A：90%以上 B：70～89% C：0～69%		
	地域教育資源の活用	・読み聞かせ、交通安全指導、水泳学習の管理、学習支援室、算数の授業、クラブ活動、書初め会等で活用した。	・全学年、1回以上地域人材を活用した授業、取組を実施する。	・教育課程に学校支援ボランティアの活用を位置付ける等の校内体制づくりを行う。 ・関係機関とのネットワークを構築する。 ・学級、学年の実態や教育活動に応じて、学校支援ボランティア活用を計画する。	・計画に基づき、実施できたか。		
	ファミリー読書の推進	・毎月第3日曜日にファミリー読書をするよう呼びかけを行った。 ・ブックカードの活用	・毎月第3日曜日に実施する。	・毎月第3日曜日の「家庭の日」に合わせて、ファミリー読書を奨励する。 ・ブックカードを作成し、配布する。 ・「ブックカード」を提出した児童へ、「もう1冊券」を配布する。			

「健やかな体の育成」を図る具体的な取組

		前年度の実践	達成目標	取組実践項目	評価の指標	評価	
						7月	11月
健康面	安全	保健室利用件数 外科(4月～1月) R1 874件 R2 404件 R3 505件	・安全に気を付けて学校生活を送る児童が100%である。	・安全指導の日常的、継続的な指導を行う。 ・毎月の安全点検の実施、その対応を行う。 ・避難訓練を実施する。 (不審者対策, 地震・津波, 火災) ・安全唱和を実施する。(下校指導) ・あすなる運動を徹底指導する。	・安全に気を付けて学校生活を送っている。 A: 80%以上 B: 60～79% C: 0～59% (児童アンケート)		
	健康	保健室利用件数 内科(4月～1月) R1 1256件 R2 909件 R3 898件 むし歯未処置(%) R2年11月 19.9% 3月 21.3% R3年12月 22.2% 3月 25.9%	・むし歯の治癒率の向上を目指す。	・規則正しい生活の呼びかけを行う。 ・「早起き・早寝・朝ごはん」を奨励する。 ・給食後の歯磨き指導を実施する。 ・むし歯治療勧告を行う。 ・授業参観, 保護者会, 個人面談等で話し合う。	・むし歯未処置率 A: 減少した B: 変化なし C: 増加した (保健室統計)		
	食育	・各学年の計画に基づき, 給食センターの栄養士を活用して実施できた。	・給食を残さず食べる児童が100%である。 ・食事の摂り方, 片付け方のマナーを守っている。	・食物アレルギー児童を把握する。 ・学校栄養士と担任のTTによる食育指導を実施する。 ・食事に関するマナーの指導を行う。 ・食器の片付け方の指導を行う。 ・定期的な残量調査時の学級指導を行う。 ・食習慣の大切さを啓発する。 ・偏食をなくすために家庭との連携を図る。	・食育指導を実施したか。 ・給食を残さず食べている。 A: 80%以上 B: 60～79% C: 0～59%		
体力面		R3年度 泳力実績 3年 15.0% 4年 35.0% 5年 40.0% 6年 55.0% 全体 36.3% R2年度は未集計	・「2.5m以上泳げる子」各学年の目標に応じて, 目標を設定する。 3年 20%以上 4年 20%以上 5年 50%以上 6年 60%以上	・新体力テストの結果・分析を行い, 授業改善に生かす。 ・体育館利用日の割り振りを行う。 ・日常的な体力づくりを奨励し, 基礎体力の向上を目指す。 ・水泳学習の指導工夫改善に努める。 ・個人目標を持たせて取り組む。	泳力調査で各学年の目標数値を達成した。 A: 80%以上 B: 60～79% C: 0～59%		
			・「なわとびチャレンジ」で, 体力の向上に努める。	・体育の授業の開始5分間程度, なわとびに取り組む。 ・体育委員会の計画, 立案で実施する。			